

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北陸)	◎	商店街（代表者）	・ワクチンの効果に期待している。新型コロナウイルスの感染がある程度落ち着けば、景気回復につながるとみている。この先3か月が目途になると考える。
	○	商店街（代表者）	・東京や大阪に出されているまん延防止等重点措置が緩和され、観光客の入込が見込める東京オリンピック開催による4連休に期待している。その反面、稼ぎ時の10月の連休がなくなるため不安要素もある。また、長引くコロナ禍の影響で経費を削減する企業も多いため、法人需要が厳しい状況である。
	○	一般小売店〔書籍〕（従業員）	・ワクチン接種や新型コロナウイルス対策が進み、今よりは経済も回っていくと考える。
	○	百貨店（営業企画）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染者数が増加しなければ、少しずつ外出する機会が増えてくるのではないかと考える。
	○	百貨店（販売担当）	・来客数や客の動向をみて、やや底を打ってきた感じがある。ワクチン接種が当社でも7月下旬より開始の可能性があるとの明るいニュースが増えている。接種を完了した高齢者の旅行需要が増加すれば、止まっていた需要が回復する可能性がある。早ければ、お盆頃、遅くとも10月の秋の旅行シーズンには、若干回復するのではないかと考える。しかし、当面は低空飛行の苦戦が続くとみているので、店舗全体での工夫が必要だろう。全ては東京オリンピック後の新型コロナウイルスの感染状況で変化すると考える。
	○	コンビニ（店舗管理）	・ワクチン接種が加速しており、2～3か月先にはほぼ接種が終了しているとみている。そのことにより、経済活動も活発化するはずである。
	○	自動車備品販売店（役員）	・ワクチン接種が進んで、生活がふだんどおりに戻ってきており、東京オリンピックの開催とは関係なく、景気は良くなるとみている。
	○	高級レストラン（スタッフ）	・7月1日からGo To Eatキャンペーンの食事券が80万冊再販売となるので、特に高額利用の多い店舗では高い利用を予想しており、来客数や客単価への追い風を見込んでいる。
	○	一般レストラン（統括）	・現状の6月よりは良くなると思うが、東京オリンピックの開催や夏休み等で、消費者の動きがどうなるのか。また、消費者行動が想像以上に活発化した場合、反動で新型コロナウイルス第5波が起こり得る懸念もある。そういう総合的な観点から、良くなっていくが、まだまだ楽観視できない状況であると考え。
	○	旅行代理店（従業員）	・このままワクチンの接種が進めばある程度人の動きも再開されるのではないかと考えるが、変異株等により予断を許さない状況に変わりはない。
	○	タクシー運転手	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が上がれば、外出が増えると思われている。
	○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスによる影響が落ち着くのではなかろうかという時期で、来客数が増えてくる可能性があり、販売も比例して伸びる可能性がある。
	○	通信会社（役員）	・東京オリンピックと新型コロナウイルスのワクチン接種により、地域経済が若干正常化に向かうと考え、通信、放送の契約者数が若干増えると思われている。
	○	テーマパーク（役員）	・緊急事態宣言の解除やまん延防止等重点措置の解除、当地での県民割引の再開など、人流や人の移動が少し回復できるような環境になってきており、期待も込めてやや回復する傾向にあるとみている。ただし、感染状況等によって再び環境が大きく変われば、状況も変わると考える。
○	競輪場（職員）	・本場開催がたて続けにあることに加え、ワクチン接種の普及に伴う来場者数の増加を見込んでいる。	
○	その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	・高齢者のワクチン接種が7月中にほぼ終われば、大人会員の復帰や新規入会が望める。子供向けのクラスは、規模は縮小するものの前年開催できなかった夏休みの特別教室を開催予定なので、今までは良くなってほしい。	

○	美容室（経営者）	・ワクチン接種が予想以上に早まってきており、新型コロナウイルスの感染収束に期待したい。
○	住宅販売会社（営業）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が国民の主力層に進めば、客の活動は確実に活発化していくものと推察する。
□	一般小売店〔精肉〕（店長）	・Webの受注が増えている分、来店する客が少ないということで、1日の売上がダウンしている。この状態がお中元時期のギフト期間中ずっと続くのではないかとみている。
□	一般小売店〔事務用品〕（店長）	・ワクチン接種が進んでおらず、コロナ禍の状況が好転する兆しが見えないため、来客数の回復が見込めない。
□	一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・高齢者からワクチン接種が進んでいるが、実際の効果が出るのはいつ頃からか分からない。7月は4連休になるが、人出の増加でまた感染者が急増しそうである。
□	百貨店（販売促進担当）	・ワクチン接種が進み、旅行や冠婚葬祭など徐々に客が活動的になるとみているが、売上の回復には時間が掛かると考える。また、お中元を中心としたギフトシーズンだが、節約傾向が出始めているのか前年よりも単価が低いいため、実績までは難しいとみている。
□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスワクチンの接種率向上だけでなく、治療薬ができないと消費意欲は戻らない。
□	スーパー（店舗管理）	・東京オリンピックの観戦が室内となり、内食や中食が支持されると言っても、頭打ち傾向には変わらない。ワクチン接種が進めば外食は増えるだろうが、小売スーパーは厳しくなる。
□	コンビニ（経営者）	・季節商材が変わらない。
□	コンビニ（店長）	・悪いながらも下げ止まっているが、決して良くはない状況が今後も続くともみている。客も必要十分な買物にとどまっており、無駄な買物がない。週末においては、コロナ禍以前とは比べものにならないほど、売上、来客数共に低迷しているが、前年と比較して幾分かマシに感じている。コロナ禍の不景気に慣れたのかもかもしれない。
□	コンビニ（営業）	・マスコミがマイナスの発信しかしない傾向であり、マスコミの論調が好転すれば、世論の雰囲気が変わってくる。
□	家電量販店（店長）	・東京オリンピック後に期待が持てる商品は特にないため、平年と変わらないとみている。
□	家電量販店（本部）	・ワクチンの効果が現れるのはもう少し先だと考える。
□	乗用車販売店（経営者）	・今後についてはどうしても新型コロナウイルスの影響で変わるとみているので、予測が立てにくいと考える。
□	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かない限り、先が読める状況ではない。
□	その他専門店〔酒〕（経営者）	・6月になり、ワクチン接種が加速してきている。7月は東京オリンピックがある。この先どうなることやらと思う次第である。
□	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・コロナ禍における生活者の消費動向は感染者数の動向に反比例する傾向があり、今後3か月程度は感染者数の増減の波が繰り返し起こるとみられ、9月頃までは現在の動向が継続すると考える。今後ワクチン接種が加速的に進み、生活者の行動範囲が拡大する状態になれば消費動向は本格的な回復傾向に向かうと期待している。
□	一般レストラン（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が全て終わらなければ安心して出歩けないようである。
□	スナック（経営者）	・7月開催の東京オリンピックからの新型コロナウイルス感染状況による変化など、先々は不透明で分からない状態である。
□	観光型旅館（経営者）	・県内宿泊キャンペーンを展開しているが、夏休み期間も予約はまだまだ少なく厳しい状況が続くとみている。
□	観光型旅館（スタッフ）	・東京等での緊急事態宣言解除後は予約保有数が若干増加しているが、Go Toキャンペーン等が実施されないと厳しい状況は続く。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・東京オリンピック開催による新型コロナウイルスの感染拡大やウイルスの変異株が怖く、心配である。
□	タクシー運転手	・東京オリンピックが始まると、テレビ観戦が増えることと新型コロナウイルスへの感染を警戒することが重なって、夜の街の人出は少なくなるのではないかと考える。

	<input type="checkbox"/>	通信会社（職員）	・来客数は減少しても、来店しなくともサービスを提供でき、契約できる仕組みが一気に進んだことで、受注数の大きな落ち込みはないと見込んでいる。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・前年の販売量と比較しても大きな変化がみられない。
	<input type="checkbox"/>	パチンコ店（経理）	・特段景気に影響を与える事柄がない。
	<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（従業員）	・展示場への来場者は多くないが、小さなイベントにアポイントを取って来場してもらうことで中身の濃い商談ができるようになっていいる。一家族一家族の商談を良くするための準備を徹底することで商談の質も高まり、良い状況が続いていきそうである。
	<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（従業員）	・まだまだ好転する要因が見つからない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	スーパー（仕入担当）	・原材料の値上げによる影響で製品の値上げ予定が多く、影響は大きいとみている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・毎日一喜一憂の状態で、新型コロナウイルス対策もころころ変わることもあり、全く先は見通せない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	乗用車販売店（役員）	・県内において新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が減少しており、経済活動も徐々に再開に向け動いている。しかし、東京オリンピック開催による悪影響への懸念があり、再び自粛状態に戻ることも考えられ、年内一杯は厳しい状況と考える。
	<input checked="" type="checkbox"/>	住宅販売会社（従業員）	・コロナ禍とウッドショックが重なり、消費者のマインドが低下する。
	<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・ワクチン接種は高齢者が終了し、次の段階に入ってきているようだが、接種予約は7月以降になったという話が多い。ワクチンが行き届くには、まだまだ時間が掛かりそうである。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	・大型商業施設の新規開業とコロナ禍による外出自粛のダブルパンチで、市内中心部への集客は更に苦戦すると見込む。
	<input type="checkbox"/>	住関連専門店（役員）	・これまで巣籠り需要などで消費が伸びていた事実は大きい。ワクチン接種の増加に伴い、今度は消費が外に向いていくことは明白であるため、厳しい状況になることが容易に予想できる。
企業 動向 関連  (北陸)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（総務担当）	・引き合いが少しずつ増加してきている。
	<input type="checkbox"/>	精密機械器具製造業（役員）	・新型コロナウイルスの変異株、東京オリンピック開催などの不安要素はあるものの、ワクチン接種率の増加に伴い、良い方向に向かうものと期待している。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・元々公共土木工事業者には新型コロナウイルスの影響はほとんどなかったが、北陸3県では感染者数がゼロの日もあり、これからは全体としても徐々に良くなっていくであろう。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（管理会計担当）	・職域でのワクチン接種開始等によるワクチンの普及により、新型コロナウイルスの感染者数が減少することで徐々に経済活動も回復してくると考える。
	<input type="checkbox"/>	金融業（融資担当）	・東京オリンピックが終了するものの、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいると見込んでいる。その頃には、ワクチンの接種状況や今後の普及率の見通しも立てることができ、経済活動活発化の道筋がみえるのではないかと考える。
	<input type="checkbox"/>	税理士（所長）	・ワクチンの効果だと思うが、旅行関係では夏から秋口に向けたツアーのオプションが大分動き始めているようである。飲食店にも徐々に客が戻ってきている。当地の場合、今は感染状況が落ち着いており、今後はそういった面から消費のリバウンドが期待できるのではないかと考える。製造業では、ウッドショックの原因となった海上コンテナの滞りが不安であるが、それがなければいろいろな面でリベンジ的な需要が多くなることを見込まれる。住宅関係に不安はあるが、全体としては上がるのではないかと考える。
	<input type="checkbox"/>	食料品製造業（経営企画）	・コロナ禍のもとでは予断は許されず今後も一進一退と考えるが、食品ゆえ需要スタイルの変化に対応することでしのいでいけるだろうと考える。

	<input type="checkbox"/>	プラスチック製品製造業 (企画担当)	・全国各地でリバウンドの兆しがあり、また、県内でも再び感染者数が増加するなどの状況下で、なかなか本格的な回復には至らないとみている。
	<input type="checkbox"/>	金属製品製造業(経営者)	・2～3か月先の分の受注の入り具合を見て、変わらないと考える。
	<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業(経理担当)	・依然として自動車関係の受注は好調であるが、半導体の供給不足による生産減少の影響が北米を中心に継続している。よって、今後のメーカーにおける生産見通しを注視しているところである。
	<input type="checkbox"/>	通信業(営業)	・現在よりも投資意欲が減退することはないと思うが、大幅な補助金施策が出ない限り、景気は今後も現状維持が続くとみている。
	<input type="checkbox"/>	金融業(融資担当)	・観光や飲食などの一部業種はコロナ禍の影響を強く受けているが、その他業種は底を打っており、業績は2極化している。ワクチン接種が早まってコロナ禍が収束に向かえば、個人消費も増加し景気は回復に向かうとみている。
	<input type="checkbox"/>	司法書士	・積極的な事業展開をしている業種は限られており、全体的にしばらくは我慢と言っている取引先が多い。
	<input checked="" type="checkbox"/>	建設業(役員)	・原材料価格の動向含めて、依然として先行きの不透明感が大きい。
	<input checked="" type="checkbox"/>	不動産業(経営者)	・現在、個人客にしても法人客にしても、同業者に問合せなど先々の話が少ない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	広告代理店(経営者)	・景気が回復する傾向はまだまだどこからも読み取れない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
雇用 関連 (北陸)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社(社員)	・ワクチン接種が奏功し、コロナ禍が鎮静化することで求人や求職が増加し、景気は回復に向かうとみている。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所(職員)	・東京オリンピックによる景気の浮揚は見込めなくなったが、東京オリンピック終了後には新型コロナウイルスの影響が回復に向かうとみているので、景気も浮揚すると考える。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社(役員)	・依然として派遣登録者も増えず、マッチングに苦労している。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌制作会社(編集者)	・大きな雇用の話が出ない。
	<input type="checkbox"/>	新聞社[求人広告](営業)	・ワクチン接種終了や自治体施策の効果ができて初めて景気が動き出すような気配である。
	<input type="checkbox"/>	新聞社[求人広告](担当者)	・医療従事者や高齢者向けには新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったが、一般を含めた接種率が飛躍的に上がらない限り、そう簡単に状況は好転しないとみている。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所(職員)	・半導体サプライチェーンにおける材料不足に伴う景気の悪化が懸念されているが、3か月くらい先を見通して、材料調達している事業所が散見されるため、3か月くらい先までの雇用維持は可能とみている。
	<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関(経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が行き渡れば経済活動が活発化し、求人も増加して元の状態に戻るが、接種率が上向き始めたばかりのため、もう少し時間が掛かりそうである。
	<input type="checkbox"/>	学校[大学](就職担当)	・求人数について、状況が変わる要素が見受けられない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—